

# 複写業務変更のお知らせ

令和5年3月27日  
外交史料館

外交史料館では、これまでの複写業務を令和5年4月から以下のとおり変更することといたします。

ご利用の皆様にはご不便をお掛けすることとなりますが、何卒ご理解とご協力をいただければ幸いです。

## I 紙出力の廃止(セルフコピー)

1 閲覧室での利用者様による複写のうち、従来のマイクロフィルム、CDやDVDからの紙出力、書籍、目録・検索簿の複写などの**紙出力はすべて廃止（複合機及びプリンターの撤去）とさせていただきます。**

2 上記複写をご希望の場合は、**閲覧室備えのCD（またはDVD）を購入していただき、それらに複写した史料を保存してお持ち帰りいただきます。**

ただし、閲覧室スタッフを通じて複写業者へ依頼する複写については、メニューの一部を終了しますが、手続きそのものに変更はありません。詳細は【別紙1】(予定)及び【別紙2】(予定)をご覧ください。

3 CD(またはDVD)の販売額は新年度にお知らせします。

4 閲覧室ではCD(またはDVD)と共に、複写業者が発行する「**請求書兼振り込み用紙**」をお渡しします。CD(またはDVD)を購入した当日もしくは翌日に、**郵便局、銀行、ネットバンキングで確実に振り込み手続きを行い、料金をお支払ください。**

5 セキュリティ対策のため、**閲覧室で購入したCD(またはDVD)は、購入した当日のみ複写の保存にご利用できます。**翌日以降は新たにCD(またはDVD)の購入をお願いします。当日中に複数回に分けて史料を保存する場合は、CD-RWを用意しております。

6 利用者様がご自分のCD(またはDVD)、USBメモリ等を持ち込み複写することはご遠慮願います。予期せぬウイルス感染を防ぐためにも、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## Ⅱ 利用者様へのお勧め

1 上記Ⅰの次第もあることから、利用者様が閲覧室にて複写を希望される場合は、すべての史料、パソコンの画面、マイクロリーダー機の画面、書籍(外務省発行のものに限る)等を、ご自身のデジタルカメラ、スマートフォン、ハンディスキャナー等をご持参の上、**積極的にご自身で撮影されることをお勧めします**。この場合の料金は必要ありません。

なお、他の方へのご配慮として、フラッシュ、三脚の使用はご遠慮いただくと共に、シャッター音は切る、またはできる限り最小とするようお願いいたします。

2 多くの利用者様がご覧になる**旅券の下付表**はこれまでマイクロフィルムでご覧いただきましたが、今般**DVD化し、令和5年4月以降はDVDにてご覧いただけるようになりました**ので、積極的にご活用ください。